

加茂信用金庫と新潟経営大学 包括連携協定締結



平成29年5月15日に新潟経営大学と加茂信用金庫は、地域活性化に向けた包括連携協定を締結しました。特殊講義「地域と観光」は、本連携にもとづく地域貢献活動の一環として実現したものです。

豊富な経験と実績を持つ特別客員教授と観光経営学部の実務家出身教授がリレー形式で講義します。

受講のお申込み・お問い合わせは

新潟経営大学 総務係まで
お電話 または 電子メール でお願います

電話 **0256-53-3000**



電子メール **koza@duck.niigataum.ac.jp**

<http://www.niigataum.ac.jp/chiiikanko2017/>

※メールにてお申し込みの際は、

①講座名 ②受講者氏名 ③電話番号 ④お住まいの市町村 を明記願います。

本講座は、新潟県教育委員会が主催する いいき県民カレッジ登録講座に登録されています。

受講料：無 料

定 員：各回48名 (講座には、新潟経営大学観光経営学部生が通常授業として同席します)
(開催日によって変わる場合がありますのでご注意ください。)

アクセス

会場 **新潟経営大学キャンパス**

〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘 2909-2

◎開講日はJR加茂駅よりスクールバスを運行します。

JR 加茂駅東口より 8分

スクールバス 8分
徒歩 20分

新潟経営大学

◎車をご利用の方は、国道403号線よりお越しください。

JR 加茂駅

講義を先取り

地方に行くと、観光のスタイルが激変していることがわかる。山村の小さな農家の民泊に、全国各地から人が来ていたり、郊外の民家を改装したレストランに多数の来客があったり、漁村に修学旅行生が来ていたり……。

これまで観光地でもなかったところに、人がやってきている。あきらかに観光客の流れが変化をしている。

農水省の統計では、農家民宿の数は、2005年の1,492軒から2010年には2,006軒に増加。宿泊者数は2009年848万人になっているという。

一方、観光客で海外から日本に訪れる外国人客が増えている。2000年に476万人だったものが、2015年は1974万人にもなっている。しかも団体客から、7割以上が個人客となっているという。

特に注目されるのは、ゲストハウス。都内では稼働率90パーセント。民家、倉庫、料亭など、さまざまな古い建物がリノベーションされて使われている。食、イベントを連携させて、地域全体で人を呼ぶ形になっていて、全国に広がりつつある。専用サイトもできている。

実際、全国を巡っていると、多くの海外客に出会う。

最近増えているのは、地方の直売所への韓国客の増加。聞けば、韓国政府も日本と同様に、農産物を加工から販売まで手掛ける6次産業に予算を投入していることから、視察が急増しているのだという。

こんな中、農村への海外観光客誘致が注目を集めている。というのは、海外の人たちが日本らしい文化、風景、日本食、農村体験、ツーリングなどに興味を持つ人たちが増えているからだ。

一方、国内の人口は激減し始め、高齢化比率が高まっている。同時に、国内の団体客誘致をしてきた温泉街の大型ホテル・宴会場付きといった客は激減している。

今後の動向を考えると、国内での観光客が増えることはない。逆に、海外の、とりわけアジア圏の観光客の来客増加と経済効果が注目されている。それも農村部、これまで観光客が来なかったようなところに注目が集まっている。

今後の日本の観光、地方の経済を考えると、インバウンド(海外客誘致)は不可欠の要素。それも農村部、地方への観光は、大いに可能性があり、実際に海外客を引き寄せている。それは国内観光客にもいえることだ。

観光経営学部 特別客員教授
金丸 弘 美

新潟経営大学
Niigata University of Management



いいき県民カレッジ登録講座 公開講座

平成29年6月25日(日)～7月30日(日)
全6回(土日開講) 13:00～16:10



「地域と観光」

観光経営学部の特別客員教授と
実務家出身教授陣のリレー講義

聴講無料

地域のみなさんの受講を募集しています

加茂信用金庫・新潟経営大学

地域貢献連携講座



地域の鼓動が 世界の息吹に...

主催
共催
後援

新潟経営大学 観光経営学部・地域活性化研究所
加茂信用金庫
UX 新潟テレビ21 加茂商工会議所 加茂市
新潟日報社 三條新聞 越後ジャーナル